

(様式3)

【学校用】

## ふるさと教育 取組事例

学校名	浜田市立三隅小学校		
学年	主な教科等	主に関わる单元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
4	社会科	地域の伝統・文化と先人たち	浜田商業高校郷土芸能部 岡崎社中(三隅町)
ねらい		地域で活動しておられる神楽社中や高校生の方から話を聞いたり、衣装や道具の体験をしたりしながら石見神楽に親しむと共に、郷土の伝統・文化について理解し、大切にしていこうとする気持ちを育む。	
<p><b>1 取組の概要</b></p> <p>浜田市の伝統・文化「石見神楽」の体験学習として、三隅町出身の生徒が所属している浜田商業高校郷土芸能部の来校が実現した。岡崎小学校との交流学習も兼ねて神楽鑑賞と衣装・道具・奏楽の体験活動を行った。</p> <p>その後、「道具を作りたい」という児童の希望で、地元の岡崎社中さんの指導を受け「御幣作り」を行った。</p>			
			
<p><b>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</b></p> <p><b>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</b></p> <p>自分たちの先輩が高校の部活動で石見神楽を継承し、県内外を舞台に活躍していることを知ることで、憧れや尊敬の気持ちを抱くと共に、より身近に神楽を感じてほしいと考えた。また、地元社中の方の石見神楽に対する思いを知ることで、ふるさとに対する愛着を深めたいと考えた。</p> <p><b>(学力育成の視点から)</b></p> <p>タブレットを使った調べ学習を取り入れ、体験をより充実したものにし、自分たちできそうなことを考えたりするきっかけにしたいと考えた。</p>			
			
<p><b>3 児童・生徒に見られた変容(どのような力が身に付いたか等)</b></p> <p><b>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</b></p> <p>神楽舞を身近に観た子ども達は、その迫力と舞や奏楽の素晴らしさに感動していた。また、高校生が郷土芸能の担い手として活躍している姿や、自分の考えを堂々と語る姿、やさしく教える姿を通して、自分たちも大きくなったらそういう高校生や大人になりたいという思いをもつことができ、キャリア教育としてもよい体験になった。神楽社中は町内各所にあることから、自分達が住んでいる地域の神楽社中に関心をもつきっかけにもなった。</p> <p><b>(学力育成の視点から)</b></p> <p>タブレットを使って石見神楽の歴史や意味、県内の出雲神楽・隠岐神楽との違い、演目の種類、石州和紙を使った道具などについて調べ、ノートにまとめていった。また、調べて分からなかったことについては2回の体験活動の際に質問をし、深めることができた。</p>			
			
<p><b>4 課題や今後の展望</b></p> <p>コロナ禍で石見神楽を見る機会が減少している中、子ども達の喜びは想像以上に大きかった。高校生にとってもよい機会となったようなので、来年度は日程調整をしながら全校で石見神楽を鑑賞する機会を設け、その後、4年生の体験活動を計画していきたいと考える。</p>			

\*取組の様子がわかるような写真を数枚貼り付けてください。

(このデータをHP等に掲載することがありますので、写真は必ず承諾を得たものを貼り付けてください。)